

◎カチーフ N 錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】フィトナジオン (U) phytonadione 【分類】ビタミン K1 製剤

【単位】◎5mg・▼10mg/錠

【常用量】薬剤投与中におこる低プロトロンビン血症、胆道及び胃腸障害に伴うビタミンKの吸収障害、肝障害に伴う低プロトロンビン血症：20～50mg/日

【用法】分割投与

【透析患者への投与方法】減量の必要なし (5) 【その他の報告】血清 VK1 値はHD 患者では健常者の 56%に低下している。HD 患者でも健常者でも 24 時間の排泄速度は差がないため、HD 患者の VK1 低下はリポイドの変化によるものと考えられる (Urol Nephrol 1: 40-43,1991) 健常人に比しビタミン K 濃度は低い (透析会誌 30: 229-235,1997) 血清 VK1 濃度は患者間変動が大きく、個体間の特性が食物摂取量よりも血清 VK 値の変動要因になる (Thromb Haemost 74: 1252-1254,1995)

【保存期腎不全患者への投与方法】減量の必要なし (5)

【特徴】ビタミン K1 は一般に腸内細菌叢により合成される。正常な血液凝固のために必須の活性プロトロンビン (因子 II)、因子 VII、IX、X の肝での生成を促進し、血液凝固機能を正常に維持する。

【主な副作用・毒性】高ビリルビン血症、消化器症状

【モニターすべき項目】プロトロンビン時間 (U)

【吸収】健康な消化管 (十二指腸) より容易に吸収される (U) フィトナジオンは胆汁酸塩が必要である (U) 皮下注でも吸収される (U)

【代謝】肝代謝 (U) 側鎖の酸化により代謝 (1)

【排泄】腎および胆汁。腸内細菌による VK 合成により、糞便中濃度は高い (U) 尿中排泄率 20%以下 (1) 【CL】6.9L/hr (1)

【蛋白結合率】データなし (1)

【Vd】データなし (1) 組織移行性が高いのでおそらく大きい (5) 肝に集積する (U)

【MW】450.70

【透析性】HD 中に VK1 の有意な喪失は認められない (Urol Nephrol 1: 40-43,1991)

【TDM のポイント】TDM の対象にはならない

【効果発現時間】経口：6～12hr, 非経口：1～2hr, 出血があると通常 3～6hr でコントロールされる (U) 正常なプロトロンビン濃度であれば 12～14hr (U)

【更新日】20190423

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。